



第 20 期事業年度  
(令和 5 年度)

決 算 報 告 書

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

国立大学法人 信州大学

## 令和5年度 決算報告書(補正予算一有)

国立大学法人信州大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
<b>収入</b>				
運営費交付金	13,398	14,087	689	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	1,090	1,686	595	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,579	2,264	684	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	36	36	-	
自己収入	34,991	37,051	2,059	
授業料、入学金及び検定料収入	6,042	6,141	99	(注4)
附属病院収入	28,715	29,695	979	(注5)
財産処分収入	37	-	△ 37	
雑収入	197	1,214	1,017	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,551	5,922	370	(注7)
引当金取崩	-	284	284	
長期借入金収入	2,089	1,960	△ 128	(注8)
目的積立金取崩	612	650	38	
引当特定資産取崩	-	-	-	
計	59,349	63,943	4,594	
<b>支出</b>				
業務費	47,535	48,685	1,149	
教育研究経費	20,438	19,993	△ 445	(注9)
うち復興関連事業	-	-	-	
診療経費	27,096	28,691	1,595	(注10)
うち復興関連事業	-	-	-	
施設整備費	3,215	3,682	467	(注11)
うち耐震対策事業	-	-	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,265	1,957	691	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,551	5,321	△ 230	(注13)
長期借入金償還金	1,762	1,749	△ 13	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	18	-	△ 18	
計	59,349	61,395	2,046	
収入-支出	0	2,547	2,547	

※本報告書は百万円未満切り捨てにより作成しています。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった運営費交付金が追加交付されたこと等により、予算金額に比して決算金額が689百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では予定していなかった施設整備費補助金事業の獲得に努めたこと等により、予算金額に比して決算金額が595百万円多額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった補助金事業の獲得に努めたこと等により、予算金額に比して決算金額が684百万円多額となっています。なお補助金等収入には、授業料等減免費交付金が306百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 在籍者数及び入学者数が予定を上回ったため、予算金額に比して決算金額が99百万円多額となっています。
- (注5) 病床稼働率の上昇による入院患者数の増、外来患者数の増、手術件数増等による稼働増、また高額医薬品の使用増等による診療単価の増により、予算金額に比して決算金額が979百万円多額となっています。
- (注6) 農場演習林収入や学校財産貸付料収入等が予定を上回ったため、予算金額に比して決算金額が1,017百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究経費等の獲得が予算段階の見込より上回ったため、予算金額に比して決算金額が370百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階より借入の減額を行ったため、予算金額に比して決算金額が128百万円少額となっています。
- (注9) 予算段階では予定していた設備投資等の減により、予算金額に比して決算金額が445百万円少額となっています。
- (注10) (注5)に示した理由に伴い医薬品・材料費が増加したこと等により、予算金額に比して決算金額が1,595百万円多額となっています。
- (注11) (注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が467百万円多額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が691百万円多額となっています。
- (注13) 事業の一部の実施を翌年度以降に実施することにしたため、予算金額に比して決算金額が230百万円少額となっています。